

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月12日

計画の名称	横浜港における港湾施設の機能維持（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	横浜市											
計画の目標	既存港湾施設の機能を維持し、横浜港の持続的な発展を支えます。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	679	A	679	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	既存施設の補修・改良により、施設利用に支障をきたしている又はその恐れのある港湾区域内の用地を低減させます。 港湾施設の利用制限等により、施設利用に支障をきたしている又はその恐れのある港湾区域の面積（ha） [補修・改良の必要な港湾施設に関連する背後用地の面積]	11ha	7ha	0ha
2	施設の改良を計画的に実施することにより、大黒ふ頭地区の既存港湾施設の機能に支障をきたすリスクを低減させます。 大黒ふ頭地区で電気防食の耐用年数超過や被覆防食の破損などにより、腐食が進行するリスクがある施設の割合（%） [腐食が進行するリスクがある施設数] / [防食が必要な施設数]	45%	36%	36%
3	施設の改良を計画的に実施することにより、内港地区の既存港湾施設の機能に支障をきたすリスクを低減させます。 内港地区で電気防食の耐用年数超過や被覆防食の破損などにより、腐食が進行するリスクがある施設の割合（%） [腐食が進行するリスクがある施設数] / [防食が必要な施設数]	24%	18%	18%
4	施設の改良を計画的に実施することにより、金沢地区の既存港湾施設の機能に支障をきたすリスクを低減させます。 金沢地区で浮さん橋の耐用年数超過や鋼材の腐食などにより、利用停止又はその恐れのある施設の数（施設） [利用停止又はその恐れのある施設数]	1施設	0施設	0施設

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	横浜市	直接	横浜市	戦略	改良	防波堤改良(大黒ふ頭船だまり防波堤A・B区)	被覆防食補修400m	横浜港・大黒ふ頭地区						21		策定済
	A02-002	港湾	一般	横浜市	直接	横浜市	戦略	改良	道路改良(大黒ふ頭2号線)	道路改良250m	横浜港・大黒ふ頭地区						60	-	策定済
	A02-003	港湾	一般	横浜市	直接	横浜市	戦略	改良	道路改良(大黒ふ頭22号線)	道路改良340m	横浜港・大黒ふ頭地区						60	-	策定済
	A02-004	港湾	一般	横浜市	直接	横浜市	戦略	改良	橋梁補修(大黒大橋)	鋼材補修737m	横浜港・大黒ふ頭地区						78	-	策定済
	A02-005	港湾	一般	横浜市	直接	横浜市	戦略	改良	岸壁改良(大さん橋ふ頭A、B岸壁)	被覆防食補修450m	横浜港・内港地区						30		策定済
	A02-006	港湾	一般	横浜市	直接	横浜市	戦略	改良	岸壁改良(新港ふ頭8号岸壁)	岸壁改良145m	横浜港・内港地区						0	-	策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-007	港湾	一般	横浜市	直接	横浜市	戦略	改良	岸壁改良(山下ふ頭2号岸壁)	岸壁改良200m	横浜港・山下ふ頭地区						237		策定済
	A02-008	港湾	一般	横浜市	直接	横浜市	戦略	改良	栈橋改良(八景島西浜さん橋)	栈橋改良1基	横浜港・金沢地区						52	-	策定済
	A02-009	港湾	一般	横浜市	直接	横浜市	戦略	改良	物揚場改良(金沢木材ふ頭1~3号物揚場)	栈橋補修255m	横浜港・金沢地区						0	-	策定済
	A02-010	港湾	一般	横浜市	直接	横浜市	戦略	改良	護岸改良(赤レンガパーク緑地護岸)	護岸改良159m	横浜港・内港地区						141	-	策定済
											小計						679		
										合計						679			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者を入れた評価を実施。	令和6年3月
	公表の方法 横浜市ホームページへ掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画的な港湾施設の補修・改良により、安全な施設利用が促進され、将来的に予想される施設の利用制限や鋼材等の腐食に対するリスクが軽減された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>（学識経験者の意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値が達成されなかった指標について、本整備計画期間の最終年度の令和4年度から、新たな個別補助事業（港湾メンテナンス事業）が創設され、実施予定だった残事業が別予算で実施されることになったもので、最終目標値が達成されることには変わりない。 ・高度成長期に整備された多くの港湾施設の老朽化が進む中、計画的な施設の機能維持は喫緊の課題となっている。今後も継続的に港湾施設の補修・改良を進め、港湾施設の長寿命化を図り、持続的な横浜港の発展を支えることが重要である。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	0ha
	最終実績値	4ha
港湾施設の利用制限等により、施設利用に支障をきたしている又はその恐れのある港湾区域の面積（ha）		
令和4年度から港湾施設の老朽化対策を行う港湾メンテナンス事業（個別補助）が創設され、実施予定の事業が移行したため、目標値と実績値に違いが出たが、移行した事業は、令和5年度から港湾メンテナンス事業で実施している。		
2	最終目標値	36%
	最終実績値	36%
大黒ふ頭地区で電気防食の耐用年数超過や被覆防食の破損などにより、腐食が進行するリスクがある施設の割合（%）		
3	最終目標値	18%
	最終実績値	18%
内港地区で電気防食の耐用年数超過や被覆防食の破損などにより、腐食が進行するリスクがある施設の割合（%）		
4	最終目標値	0施設
	最終実績値	0施設
金沢地区で浮さん橋の耐用年数超過や鋼材の腐食などにより、利用停止又はその恐れのある施設の数（施設）		

参考図面

計画の名称	横浜港における港湾施設の機能維持（防災・安全）		
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）	交付対象	横浜市

